

元気になる「心の整理術」 読者のワザ、プロの知恵を一挙公開!

# ■ 日経ビジネス Associé

2011年9月6日発行・発売(毎月2回第1・第3火曜日発行・発売)  
第10巻第16号通巻236号 2002年10月3日第三種郵便物認可

日経ビジネスアソシエ

2011

09

20

特別  
定価 630 YEN

# 元気になる 技術

仕事に効く  
「心の整え方」

読者が実践! 専門家が検証!

心を軽くする“儀式”はこれだ

チェックシートで判明!

タイプ別ストレス対策

知っておきたい即効ワードと NG ワード

職場も元気に! 励ます技術

なでしこ澤、長友、長谷部…

世界で戦うメンタリティーとは

「クレーム対応係」の秘 発散法

特集2 お手軽セルフブランディング

## “自分名刺”を作ろう!



特別付録  
アソシエ特製  
名刺用紙セット



毎月第1、第3火曜日 発売



## 和語、漢語、外来語を使い分ける

言葉の持つニュアンス「語感」を重視した話し方は、ビジネスで大いに役立つ。  
2回目は、和語、漢語、外来語の違いを理解し、適切な言葉を選ぶ方法を紹介する。

## 社内コンペで料理イベントの企画をプレゼン

Aさん「男性向け料理イベント『**台所男子**で行こう!』は、  
昨今増えている、料理を楽しむスマートな男性に…」

部長「どうもパツとしないんだよね。うーん…」



**状況** 食品メーカーの企画部に勤めるAさん。新商品のマーケティング企画についての社内コンペで、男性向け料理イベントを開催したいと説明した。ちょっとした手料理を振る舞える“スマートな男性”を目指したい料理初心者に向けて、新商品を売り込みたいと考えた。タイトルは「台所男子で行こう!」。プレゼンは過不足なく行えたと思ったが、決裁者である部長の反応は「どうもパツとしない」といまいち。企画タイトルのつけ方がまずかったようだ…。

## 和語、漢語、外来語とは

和語、漢語、外来語は、同じような意味の言葉を歴史的にグループ分けした概念だ。もともとあった日本語は「和語」であり、「台所」のように訓読みする場合が多い。中国から渡来した日本語は「漢語」で、「厨房」のように音読みされる。主に欧州から室町期以降に渡来した日本語が「外来語」で、カタカナで表記する。いずれも日本語であり、「外国語」ではない。基本的には同じ意味でも、それぞれが持つ言葉のニュアンス「語感」は異なる。当然、相手の受ける印象も変わるので、タイトルやキャッチコピー、宣伝文句などを考える時は、内容に合う言葉を選びたい。

## イベントタイトルを再考しよう

## 台所男子

「台所」は、家で調理をする部屋や場所を示す古風な言葉。和語。主婦が家庭の食事を作るイメージがあり、「台所＝おふくろの味」を連想する人もいる。煮物や炊き込みご飯、味噌汁など、家庭で作られる一般的な和食を想定した料理イベントには「台所男子」がぴったりだが、今回の企画の主旨である“スマートな男性”からは、イメージが離れている。

## 厨房男子

「厨房」は、家庭で料理をする場所ではなく、レストランなどの専門的な設備が整った場所を示す。漢語。「調理場」の意味でも使われる。プロの料理人の技を伝授するような、玄人好みの料理イベントのタイトルには向くが、今回のイベントの狙いを考えると、やや大げさすぎ。「厨房」になると、ターゲットとしている初心者の参加者も激減しそうだ。

## キッチン男子

「キッチン」は、主に洋風建築の建物に設置される食事を作る場所。外来語。「台所」よりも明るくて清潔なイメージがあり、家族みんなで料理を作ったりする姿も想像できる。今回の料理イベントは、「妻が忙しい時に手際よく料理を作ってくれる夫」も参加者として想定しているため、企画タイトルとして、「キッチン男子」はぴったりだ。

## 新商品のマーケティング企画について、社内コンペが行われている。

Aさんの企画は、男性向け料理イベント「**台所男子**で行こう!」。プレゼンは順調でうまく説明できた手応えがあったのに、決裁者の部長は浮かない顔。「どうもパツとしないんだよね」とぶつぶつ言っている。理由を聞くと、「『台所男子』ってさ、家の隅で古いアルミの鍋なんかで料理している印象を受ける。もっと、男性たちが『料理ができるようになった!』って思わせるタイトルにできないの?」。Aさんは即答できず、その場で固まってしまった…。

この例のように、タイトルのつけ方ひとつで、企画のイメージは大きく変わる。想定する参加者を呼び込むためには、その人の心に訴えかける企画タイトルをつけなければいけない。

では、この例では、部長の要望通り、「明るくてしゃれた感じ」にタイトルを変更したい場合、どうしたらいいだろう。

こんな時に覚えておくと役立つ

のが、「和語」「漢語」「外来語」が持つニュアンスの違いだ。和語、漢語、外来語は、同じような意味の言葉を歴史的にグループ分けした概念。もともとあった日本語は「和語」で、訓読みされることが多い。中国から渡来したものは「漢語」で、音読みされる。主に欧州から渡来した外来語は、カタカナ表記される。それぞれの「語感」は異なる。

## 「台所」を言い換えるとは…

例えば、「台所男子」の「台所」は和語だが、漢語では「厨房」、外来語では「キッチン」になる。

和語の「台所」は、古い家屋にある、主婦が家庭の食事を作る場所を連想させる。「台所男子」の場合、男性が「主夫」にでもなったかのようなイメージを与える。それが漢語の「厨房男子」になると、がらりとイメージが変わり、プロの料理人が腕を振るう場所を思い起こさせる。

今度は外来語に置き換えてみる。「キッチン」は、現代的なマンショ



「来月の部内旅行で泊まる〇〇の予約を入れますね」では…

宿屋 (和語)

古風な和風建築の宿で、客室はすべて和室。現在では、やや古臭いイメージがある。浴室やトイレが各部屋になく、共同だったりすることが多いため、設備の豪華さは期待できない。また大人数で泊まれるだけの部屋数も心配だ。その一方で、安く泊まれるイメージがある。そう考えると、部内旅行の宿泊先として使う言葉としてはあまり想定できない。

旅館 (漢語)

構えが立派で温泉などを備えた和風建築の宿。客室は主に和室だが、ベッドで寝たいという人向けに洋室を備える旅館もある。「老舗旅館」という言葉があるように、旅館が用意する食事も期待できる。大広間の座敷もあるので、大人数での宴会も可能。部内旅行で泊まる宿としては、規模や料理、設備など、安心して予約を入れられそうなイメージがある。

ホテル (外来語)

洋風建築で構造は鉄筋コンクリート。部屋は洋室が基本。出張で単身者が泊まる「ビジネスホテル」のほか、ホスピタリーや設備が充実した「一流ホテル」まで幅広い。プールやビジネスオフィスを備えている可能性もある。宿泊客は単身か少数のグループが想定される。大人数で泊まるとなると、高額な費用が懸念される。あまり部内旅行向きではない。

「ねえねえ、近所におしゃれな雰囲気のお〇〇ができたらしいよ」では…

店 (和語)

商品を陳列して客に販売する建物を指す。幅広い用途で使われるが、やや小規模なイメージがあり、手作り、個人経営、伝統的といった意味合いを感じさせる。「昔ながらの店」と使われるように、やや古臭い印象も持つ。「店」の言葉のイメージとしては、屋外で商品を販売する「露店」も含まれる。おしゃれなニュアンスは、それほど伝わってこない。

店舗 (漢語)

「店」と同じ意味で使われるが、ビジネスの世界でやや堅いニュアンスで使われることが多い。規模は大小考えられるが、「大規模店舗」と使われるように、ある程度以上の規模の建物が連想される。「系列店舗」「店舗内装」「店舗案内」など、固有名詞以外でも使われることが多い。「あそこにおしゃれな店舗ができたらしいよ」とは、あまり聞かない。

ショップ (外来語)

新しい形式、新しい商品、新しい価値を扱う店といった印象を持つ外来語。規模はそれほど大きくなく、小売店が想定される。「アパレルショップ」や「セレクトショップ」などと使われ、洗練された、おしゃれなイメージも併せ持つ。特に若者や女性が好んで利用する言葉でもある。上記の会話例では、「ショップ」がぴったり当てはまる。

和語・漢語・外来語クイズ!

和語	手品	②	芝居小屋	思いつき	⑤	腕前
漢語	①	舞踏	劇場	④	速度	技術
外来語	マジック	ダンス	③	アイデア	スピード	⑥

【解答】①奇術 ②踊り ③シアター ④発想 ⑤速さ ⑥テクニック

ンなどが頭に浮かぶ。夫婦で腕を振るう場所、子供たちが集う場所という明るいイメージもある。  
このように考えていくと、「キッチン男子」が部長の望む企画タイトルに最も近いと察しがつく。

泊まりたいと思うのは?

和語、漢語、外来語の違いをもう一つ見てみよう。

突然だが、問題。「宿屋」「旅館」「ホテル」。出張で泊まりたいと思うのはどこ? 会社の懇親会で行くなら? 安い費用でこじんまりしたところに泊まりたいなら? 何となくのイメージで答えは出たと思うが、どうしてそう思ったのか理由を考えてみよう。

「宿屋」(和語)は、小規模で古風な和風建築、料金が安いイメージがある。設備の充実度は期待できず、浴室やトイレが各部屋になく、共同の場合もある。  
「旅館」(漢語)は、構えが立派で温泉などを備えた、宿屋よりはワンランク上のイメージがある。大広間の座敷があり、お膳を並べて宴会などもできる。

「ホテル」(外来語)は、洋風建築

で鉄筋コンクリート。部屋は洋室で、プールやビジネスオフィスを備えている可能性もある。宿泊客は単身か少数のグループが想定される。

このようにそれぞれの言葉の持つイメージを分解して見ていくと、その言葉の語感が鮮明に見えてくる。これなら先ほどの質問の答えも理屈つきで明確に答えられるだろう。

「相手にこう感じてほしい」というイメージがあれば、それを相手に的確に示す言葉を選んで使うことが大切だ。その1つの目安になるのが、和語、漢語、外来語の違いだ。覚えておくと、どこかで必ず役に立つだろう。



佐々木瑞枝さん  
Mizue Sasaki

武蔵野大学大学院教授  
京都府生まれ。山口大学や横浜国立大学の教授職を経て現職。エコールブランタン日本語教師養成講座講師。専門は日本語学。「日本語を「外」から見る」(小学館101新書)、「外国語としての日本語」(講談社現代新書)など著書多数。  
http://www.nihongonosekai.com/